



鶏鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

パウロの言葉

「皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一にし思いを一にして、固く結び合いなさい」

聖書(第1コリント書1章10節)

牧師 河合裕志

パウロは紀元45年～51年の間、ギリシャの都市コリントに滞在して福音を宣べ伝えコリントの教会を建ち上げた。その後、小アジア(今のトルコ)の町エフェソに移って54年頃、この「コリントの信徒への手紙一」を書いた。

今日のところでパウロは「一致の勧め」を述べている。コリントを離れて3年、大変なことが起っていると聞き知ったので。争い(スキスマ)になると。どんな争い? 「わたしはパウロにつく」「わたしはアポロに」「わたしはケファに」「わたしはキリストに」などと言い争っていた。

4派による分派争い。パウロにつく、パウロ先生は最高、その教えは深く素晴らしい。いやいや、アポロ先生の方が優れている、雄弁で格好いい。やはりケファ(ペトロ)でないの、なんと言ってもイエス様の第一弟子だもの。いや、皆間違っている、キリストにこそつき従うべきだ。

なんとも賑やか、信じ難い分派争い。パウロに聞いてびっくり。このままでは生まれたての教会は崩壊してしまう。そこで火消しにまわった。彼は3点を指摘。①「キリストは幾つにも分けられてしまったのですか」②「パウロがあなたがたのために十

字架につけられたのですか」③「あなたがたはパウロの名によって洗礼を受けたのですか」

①キリストは唯一人。二人も三人もいない。唯一のキリストを頂点に頂いていなさい。教会の最高権威者はキリスト。キリストを差し置いて誰もお山の大将になるな。

②私パウロを担ごうとする人々、それは有難迷惑というもの。本当に有難いのはキリスト、その十字架。わたしはあんた方のために十字架についた覚えはない。他の誰もそう。担ぐならキリストのみ。

③わたしから洗礼を受けたことを誇る者もいるようだけれど、洗礼はあくまでも「キリストの名によって」なされるもの。そしてクリスチャン(「キリストに属するもの」の意味)になる。ここんところを間違えるな。

パウロはこんな風に言って一致の勧めをした。なんで分派争いは起る。お山の大将になりたいから。これはどんな世界でも起る。ただキリスト教会で忘れてならないのはキリストがあくまでもトップ、ヘッドということ。様々な教派があるけれど、この点が守られていれば大目に見るか。教派解消を理想としつつも。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時